

令和3年度 大田区立矢口中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

【本校の規模】通常学級14学級、特別支援学級2学級 生徒数507名 教員31名 (校長・副校長・主幹教諭2・主任教諭10・教諭14・主任看護教諭・非常勤教員2)
【本校の状況】行事・部活動・ボランティア活動に積極的に参加する生徒が多く、素直な生徒が多く、学校生活は落ち着いている。一方、家庭環境に問題があり、生活習慣の乱れや学習の基礎が不十分で、不登校になる生徒もいる。
【保護者・地域の状況】保護者は協力的な非協力的の二極化の傾向がある。学校に対する支援を惜しまない保護者もいれば、PTA活動に消極的で、クレームをつける保護者もいる。地域やOBは学校に対し協力的で温かく見守っていて地域学校支援本部(スクールサポート)の活動が活発で、様々な教育活動の支援をしている。
【経営方針】1年「見る」2年「見られる」3年「見せる」を合言葉に三年間の成長を図る教育活動を展開している。生徒には3C「Consider Control Continue」を大切にしよう指導している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 7 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄(評価者 人数). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を育みます', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である